

## ⑤ 稲 荷 社



稲荷社は、西湘地方三大稲荷としてすでに鎌倉時代より崇敬が厚かったといわれています。お産の時にごりやく御利益があるとされ、安産祈願に際し、社殿にある白狐の置物を一对借り、安産の後にはお礼として、借りた一对に新しく買いもとめた白狐一对を加えて納める習わしがありました。平成7年に社殿を再建した際には床下からたくさんの白狐の置物が出てきました。

戦前には初午の夜、氏子の家に舞台をつくり芸人を呼んで義太夫などが行われました。境内には、山王さんと呼ばれる庚申塔がまつられています。



稲荷社庚申塔